

< 別紙 > 「いじめ」発見につながる子どもからのサインについて〔例〕

- 子どもとの信頼関係がすべての基本です -

(1) いじめられている側の子どもの特徴〔例〕

- A 身体のどこかに変調はありませんか？
- ・顔面の傷、鼻血の跡、痣などがある
 - ・給食や家庭での食事を残したり、けがをしても詳しい説明をしなかったりする
- B 表情や情緒に変化はありませんか？
- ・暗く沈みがち、無気力、情緒不安定、おどおどしている、視線が定まらない等の様子がある
 - ・うつむいて歩いたり、カッとなったり、粗野な行動が目立ったり、苛立ちが多くなったりする
- C 持ち物の紛失などはありませんか？
- ・机やイス、教科書などに落書きされたり、文房具を壊されたり、かばんや靴を隠されたりする
 - ・傘を勝手に持っていかれたり、自分の自転車に傷を付けられたりする
- D 服装の乱れ・変化はありませんか？
- ・ズボン、スカート、上着などに靴跡がついていたり、汚れるはずのない所が汚れていたりする
 - ・服装や髪形、装飾品などが変わる
- E 金銭の使い方などに変化はありませんか？
- ・家の現金がなくなったり、小遣いの不足を訴え、使い道を言いたがらなくなったりする
 - ・持ち物の量や種類など、その趣向が急に化する
- F 友達関係に変化はありませんか？
- ・今までかかわってきたグループからはずされ、一人ぼっちのときが増える
 - ・嫌なあだ名で呼ばれたり、仲のよかった友達と遊ばなくなったりする
 - ・プロレスごっこなどと称し、親しくない友達と過激な遊びをする
 - ・暴力を受けても、ふざけ合いと言ったり、笑ってすまそうとしたりする
 - ・さほど親しくない仲間と一緒に空き教室やトイレから出てくる
 - ・普段行かない繁華街や公園などに呼び出されたり、行ったりする
 - ・教室移動や下校時に友達の荷物を持たされる
 - ・着ている服を無理やり脱がされる
 - ・関係ないときに、歌を歌わされたり、給食中にいたずらをされたりする
 - ・特定の友達の失敗や規則違反等に強く反発したり、訴えたりする
- G 大人への対応や家庭生活(言葉遣いなど)に変化はありませんか？
- ・話す言葉が少なくなったり、返事が曖昧になったりする
 - ・問いに答えようとしなかったり、いきなり乱暴な口調になったりする
 - ・電話の対応が不自然になったり、携帯電話の使用料が急に多くなったりする
 - ・食事を一緒に摂りたがらなくなったり、風呂に入りたがらなくなったりする
 - ・自分の部屋から出てこないことが多くなる
 - ・学校をはっきりした理由もなく休みたがる
 - ・遅刻や早退が目立つようになり、登校時刻ぎりぎりになるように家を出たりする
 - ・格闘技に急に興味をもったり、刃物を持ち歩いたりするようになる
- H 学校生活での様子に変化はありませんか？
- ・無責任、無関心な行動が増える
 - ・ほかの友達がいやがるような仕事を一人だけで行う
 - ・教室に一人で遅れて入ってくる
 - ・忘れ物が目立ったり、役を降りたいなど、急に意欲をなくしたりする
 - ・特別な用事もないのに、職員室や保健室などに来る
 - ・下校が早くなり、人目を気にしながら帰るようになったり、一人だけの下校を恐れたりする
- J 学業、成績の急激な変化はありませんか？
- ・学習意欲がなくなり、成績が下がり続ける
 - ・文字の筆圧が弱くなる
 - ・本を開いていても、視線がぼんやりしていたり、集中していない様子が増えたりする

(2) いじめ側の子どもの特徴〔例〕

- A 行動面に変化はありませんか？
- ・ 特定の子どもの身体の特徴や口調をわざとまねる
- B 表情や動作に変化はありませんか？
- ・ 特定の子どものことをヒソヒソ話したり、視線だけその子に向けて話したりする
 - ・ 特定の子どもの近くをよけて通ったり、その子が使った蛇口で水を飲んだりしないようにする
 - ・ 教師や親の目を避けるようにして、友達と話す
 - ・ 特定の子どものことについて、手紙やメールを回す
 - ・ 仲間と目配せし、特定の子どもの威圧感などを与える
 - ・ 特定の子どもの机やイス、持ち物などにさわろうとしない
 - ・ 特定の子どもの嫌いな食べ物をわざと大盛りをしたり、最後まで食べるように強制したりする
 - ・ 特定の子どものことをわざと無視する
 - ・ グループ編成のときに、特定の子どものみだけ一人に残す
 - ・ 特定の子どもの攻撃的な態度をとったり、言葉を浴びせたりする
- C 持ち物などに変化はありませんか？
- ・ 授業開始のときに、学習用具が乱れていたたり、散乱したりしている
 - ・ 保護者が買い与えていない物品を所持していることが増えている
 - ・ 不自然な物品の入手先を尋ねても曖昧にし、はっきり答えない
- D 金銭感覚や帰宅時間などに変化はありませんか？
- ・ 小遣いの範囲内で買えない持ち物が増えたり、飲食をしたりしている
 - ・ 服装が必要以上に華美になる
 - ・ 屋外での行動時間が不規則になり、帰宅時間が遅くなる
- E 言葉遣いや態度などに変化はありませんか？
- ・ 正しい意見なのに、「ヘエー」等と馬鹿にするような野次を飛ばしたり、支持しなかったりする
 - ・ 特定の子どもの褒められると、嘲笑したり、しらけたりする
 - ・ 特定の子どもの「クラスの恥」などと言って、非難する
 - ・ 特定の子どもの笑い者にしたり、からかったりする
 - ・ 特定の子どもの「バイキン」、「菌」など、相手のいやがるあだ名で呼ぶ
 - ・ 係や委員を決めるとき、特定の子どものみだけ半分に推薦する
 - ・ 授業中、特定の子どものみだけ授業に関係のない質問をする
 - ・ 特定の子どもの得意なところをわざと声に出してけなしたり、責めたりする
 - ・ 特定の子どものみだけ仲間と一緒に命を命令的な指示をする
 - ・ 特定の子どものみだけ呼び出したり、不要な或いはできない用事を指示したりする
- F 友達関係や大人への対応に変化はありませんか？
- ・ 何か起こると、特定の子どもの名前を上げ、責任を転嫁する
 - ・ 保護者や教師、地域の方々など、周りの大人からの問いかけを無視する

以上のことは、それぞれの立場にいる子に見られる特徴の一部分です。子どもとの信頼関係をもとに、子どもたち一人一人が望ましい心の成長を図ることができるように、子どもたちの努力を温かく見守りながらも、必要があれば、子どもたちの生命と心を守るために、周囲の大人たちが連携し合って活動していくことが大切であると考えます。

参考文献：「東京都立研究所 平成7年度 「いじめ問題」研究報告書 -いじめ解決の方策を求めて-」

* 一部引用・加筆して作成